

令和2年度 活動計画

活動目標

1. 看護師職能の活動を通して、公衆衛生の向上と県民の健康保持・増進に寄与する
2. 病院看護師の役割の明確化と資質の向上を図ると共に働きやすい環境づくりを支援する

<公益目的事業>

活動内容

1. 医療福祉における看護師の資質向上のための研修会等の企画・実施
2. 看護職の交流を通して情報交換し、看護職の活性化を図る

活動計画

1. 定例会：年11回
2. 研修会：年 2回 延定員300名

<会員支援事業>

活動内容

1. 令和元年度事業報告、令和2年度事業計画の説明

活動計画

1. 職能集会・講演会：年1回 定員150名

公益目的事業（研修会）

項 目	内 容	開催日	場 所	募集人数
研 修 会	テーマ：「病院看護師のための認知症ケアについて一短い入院期間の中で、安全安心なケアを実践するために」 講師：六角 僚子氏 (三重県立看護大学看護学部 地域在宅看護学領域 教授)	R2. 11. 30(月)	神奈川県看護協会	150 名
	三職能合同研修 テーマ：(仮)「ACP について保健師・看護師各職能それぞれの立場で考える」 講師：西 智弘氏 (川崎市立井田病院・川崎総合医療センター医師)	R3. 1. 27(水)	同上	150 名

会員支援事業

項 目	内 容	開催日	場 所	募集人数
職能集会	令和元年度事業報告 令和2年度事業計画	R2. 7. 10 (金)	神奈川県看護協会	150 名
講演会	テーマ：セル看護提供方式を学ぼう ～セル看護提供方式の導入と成果について～ 講師：須藤 久美子氏 (飯塚病院 看護部 特任顧問／セル看護推進研究会 会長)			

看護師職能委員会 I 研修（講演会）実施報告

研修（講演会）テーマ	セル看護提供方式を学ぼう ～セル看護提供方式の導入と成果について～		
主 催	看護師職能委員会 I		
講 師	須藤 久美子氏（飯塚病院 看護部 特任顧問／セル看護推進研究会 会長）		
開 催 日 時	令和 2 年 7 月 10 日（金）14：00～16：00		
目 的	セル看護方式の導入と成果について学ぶ		
内 容	講演		
場 所	神奈川県総合医療会館 7 階講堂		
参 加 対 象	看護職	参 加 人 数	151 名 （会員 145 名・非会員 6 名）
まとめ・評価	1. アンケート回収 133 枚 回収率 97.0% 1) 会員 127 名 2) 非会員 6 名 2. 職種 1) 看護師 133 名 2) 准看護師 0 名 3. 研修会を知ったきっかけ 1) 看護協会からの案内チラシ 101 名 2) 看護協会ホームページ 9 名 3) 友人、知人からの情報 5 名 4) その他 18 名（上司の勧め 11 名 職場の掲示板 3 名、職場からの勧め 1 名 他） 4. 参加動機 1) 自らすすんで 69 名 2) 上司の勧め 60 名 3) 同僚の勧め 4 名 4) その他 0 名 5. 感想 1) 非常に良かった 58 名 2) 良かった 59 名 3) 普通 14 名 4) やや期待はずれ 0 名 5) 期待外れ 0 名 6) 無回答 2 名 6. アンケート内容 ・現状で実践するのは難しいと思いましたが、確かにできないことはないし、できることから少しずつでも進めていくことが大切だと思いました。 ・患者や家族にとっても働くスタッフにとってもより良いシステムを作っていけるように、スタッフの動きや業務の流れを考え、現状に沿わない業務スケジュールを見直したいと思いました。 ・セル看護方式が当病棟に適しているかどうかは別として、改革するための手順・準備アプローチの仕方がとてもよく分かりました。 7. 評価 ・募集人数を超える多くの参加希望者があり、お断りする状況があった。セル看護方式に対する興味や期待が伺われた。アンケートの結果から、できることから始めてみたいという施設もあり、講演会終了後の質問も多かった。		



看護師職能委員会 I 研修（講演会）実施報告

研修（講演会）テーマ	病院看護師のための認知症ケアについて ～短い入院期間の中で安全安心なケアを実践するために～		
主 催	看護師職能委員会 I		
講 師	六角 僚子氏（三重県立看護大学看護学部 地域在宅看護学領域 教授）		
開 催 日 時	令和2年11月30日（月）13：30～16：30		
目 的	現場経験とエビデンスに基づいた認知症ケアを理解し、より良い看護実践を学ぶ		
内 容	講演		
場 所	神奈川県総合医療会館 7階講堂		
参 加 対 象	看護職	参 加 人 数	118 名 (会員 97 名・非会員 21 名)
まとめ・評価	1. アンケート回収 117 枚 回収率 99.2% 1) 会員 93 名 2) 非会員 21 名 3) 無回答 3 名 2. 職種 1) 看護師 109 名 2) 保健師 1 名 3) 助産師 1 名 4) 准看護師 3 名 5) 無回答 3 名 3. 研修会を知ったきっかけ 1) 看護協会からの案内チラシ 89 名 2) 看護協会ホームページ 7 名 3) 友人・知人からの情報 8 名 4) その他 9 名 5) 無回答 4 名 4. 研修会の内容 1) 非常に良かった 72 名 2) 良かった 32 名 3) 普通 6 名 4) やや期待外れ 2 名 5) 無回答 5 名 5. アンケート内容 ・認知症患者の特徴が良く分かり「その時が常に新しい出会い」だからこそ自己紹介の大切さ、リアリティオリエンテーションの大切さを学んだ。 ・患者の症状と医師の診断のDVDが分かりやすかった。 ・認知症への理解とアセスメントが大切だということを学んだ。 ・看護師は記録に異食や異常行動と記載するがその行動には意味があり、その意味を知り相手の目線に立って看護をすることが大切だとわかった。 6. 評価 ・高齢者や認知症患者が多く入院している中、現場では苦慮している現状がある。そのような中、今回の研修は実際の認知症患者の行動や対応方法がDVDや講義を通して実践に活かせる内容だった。アンケートの結果からも、「良かった」、「非常に良かった」が約 90%と受講者のニーズに応えられたのではないかと考える。 ・研修会が縮小傾向の中で企画者側の感染対策と受講者の協力により開催することができた。今後も感染防止に努めながら開催を継続していきたい。		



令和2年度 活動報告

I 活動目標

- 1 看護師職能の活動を通して、公衆衛生の向上と県民の健康保持・増進に寄与する
- 2 病院看護師の役割の明確化と資質の向上を図ると共に働きやすい環境づくりを支援する

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 医療・福祉における看護師の資質向上のための研修会等の企画・実施
- 2) 看護職の交流を通して情報交換し、看護職の活性化を図る

2 活動の実績

項 目	内 容	開催日	場 所	参加者数
定 例 会	1) 事業の企画・実施・評価 ※4月、5月、10月、1月、2月は中止	全6回	神奈川県看護協会	委員 11 名
研 修 会	テーマ：「病院看護師のための認知症ケアについて～短い入院期間の中で安全安心なケアを実践するために～」 講 師：三重県立看護大学 看護学部 地域在宅看護学領域 教授 六角 僚子氏	R2. 11. 30(月)	同上	129 名
	テーマ：「それぞれの立場から患者に寄り添う ACP を考える」 講 師：川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター 腫瘍内科・緩和ケア内科医長 西 智弘氏	R3. 1. 27(水) (中止)	中止	中止

III 会員に対する支援事業

1 活動内容

- 1) 令和元年度事業報告、令和2年度事業計画の説明

2 活動の実績

項 目	内 容	開催日	場 所	参加者数
職能集会	令和元年度看護師職能委員会 I 活動報告 令和2年度看護師職能委員会 I 活動計画	R2. 7. 10(金)	神奈川県看護協会	151 名
講 演 会	テーマ：「セル看護提供方式を学ぼう ～セル看護提供方式の導入と成果について～」 講 師：飯塚病院 看護部 特任顧問・セル看護推進研究会 会長 須藤 久美子氏			